

科目番号	53008	分類	専門科目 看護教育科学領域	履修者	看護科学コース (看護教育・研究者プログラム)			学年	1
科目名	看護教育学特論Ⅱ ( Advanced Study in Science of Nursing Education Ⅱ )							1	
								配当セミア-	
								後期	
担当者	○上國料 美香			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>【概要】</p> 科学的根拠に基づく教育（EBE）を展開するために不可欠な、カリキュラムの編成・運用に関する基礎知識の修得を目指す。また、看護基礎・卒後・継続教育に携わる看護職者がカリキュラム編成・運用に関する基礎知識を修得する意義を考察する。 <p>【目標】</p> 1. カリキュラム編成の4つの段階を説明する。 2. 1を前提に、看護基礎教育課程のカリキュラムの実際を説明する。 3. 看護基礎・卒後・継続教育に携わる看護職者がカリキュラム編成・運用に関する基礎知識を修得する意義を多角的に説明する。						1. 看護学の継承・発展を図るための研究能力 2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力 ○ 3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を図ることができる能力 ○ 4. 実践を行いながら学部学生の臨床実習指導、新人看護職等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援が指導ができる能力			
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1回	ガイダンス 授業の目的、目標、授業展開の理解 カリキュラムの定義、カリキュラム過程の構造							上國料	
第2～3回	統合カリキュラム編成の実際：方向付けの段階								
第4～6回	統合カリキュラム編成の実際：形成段階								
第7～8回	統合カリキュラム編成の実際：機能段階								
第9～11回	統合カリキュラム編成の実際：評価段階								
第12～13回	高等教育の質の保証システム・自己点検・評価								
第14～15回	看護基礎教育課程の実際の把握と分析 まとめ								
事前・事後学習	事前学習：授業内容に関する図書、文献、事前資料を閲読し、ディスカッションの準備をする。 事後学習：資料の加筆・修正、ディスカッション内容をまとめる。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組む。								
評価の方法	プレゼンテーション40%、プレゼンテーション参加度20%、レポート40% フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	◎ Gertrude Torres, et al (近藤潤子他訳)：看護教育カリキュラムその作成過程, 医学書院, 1988. ◎ 杉森みど里・舟島なをみ：看護教育学 第8版, 医学書院, 2024. その他、適宜に紹介する。◎必須図書								
備 考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								